

▼ベレキシブル錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 チラブルチニブ 塩酸塩 Tirabrutinib Hydrochloride 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [ブルトン型 TKI]

【単位】 ▼80mg/錠

【常用量】 1日1回480mgを空腹時投与 [適宜減量→320mg→160mg]

【用法】 1日1回・食事の1時間前から食後2時間までの間の服用は避ける

【透析患者への投与方法】 PKは腎機能低下の影響を受けない (1)

【保存期 CKD患者への投与方法】 PKは腎機能低下の影響を受けない (1)

【特徴】 ブルトン型チロシンキナーゼ (BTK) と結合し、キナーゼ活性を阻害し、腫瘍細胞において恒常的に活性化されている B 細胞受容体 (BCR) シグナル伝達を阻害し、腫瘍の増殖を抑制。

【主な副作用・毒性】 出血、感染症、骨髄抑制、間質性肺疾患、肝機能障害

【安全性に関する情報】

【吸収】 食事により AUC 増大 (1)

【F】 不明 (1)

【tmax】 2.5hr (1)

【代謝】 CYP3A4 により代謝 [寄与率 40%] (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 0%，尿中回収率 42% [po, 360hr まで] (1) 糞便中に未変化体として 1.5%排泄 (1) P-gp, OATP1B1/1B3 の基質 (1)

【CL/F】 63.3L/hr (1)

【t1/2】 3.6hr (1)

【蛋白結合率】 92% (1)

【Vd】 Vc/F 259L/man, Vt/F 114L/man (1)

【MW】 490.94 [塩酸塩]

【透析性】 資料なし (1) 除去されにくいと思われる (5)

【O/W 係数】 LogP=2.69

【相互作用】 160mg 投与時、レボノルゲストレル/エチニルエストラジオールとの相互作用を認めず (Cherala G, et al: Clin Transl Sci 2022 PMID: 35266297)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20240921

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。